

令和4年8月15日
 千葉県健康福祉部疾病対策課
 043-223-2574

感染症予防のための情報提供について

病名	レジオネラ症																				
住所	市川市	年齢・性別	91歳・男性																		
職業	無職	症状等	発熱・呼吸困難・肺炎・多臓器不全																		
発病年月日	令和4年5月30日	届出年月日	令和4年6月3日																		
<p>令和4年6月3日に市川市内の医療機関に入院し、市川保健所に発生の届出があった患者が、同年8月5日にレジオネラ肺炎により死亡した。</p> <p>〔患者発生の経過〕</p> <p>5月30日 発熱。</p> <p>6月1日 往診医による診察。解熱剤処方あり。</p> <p>6月2日 往診医再診。肺炎疑いあり、翌日県内医療機関受診予定となる。</p> <p>6月3日 呼吸苦があり、市川市内の医療機関に救急搬送され、そのまま入院。</p> <p>同医療機関で検査の結果、「レジオネラ症」と診断され、同日、市川保健所に患者発生の届出。</p> <p>8月5日 レジオネラ肺炎により死亡。</p> <p>〔調査事項〕</p> <p>市川保健所が積極的疫学調査を実施したが、感染源・感染経路等、原因の特定には至らなかった。</p> <p>〔県内の発生状況（レジオネラ症）〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>届出数</th> <th>H30年</th> <th>H31・R1年</th> <th>R2年</th> <th>R3年</th> <th>R4年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉県</td> <td>101</td> <td>101</td> <td>97</td> <td>84</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>2,142</td> <td>2,314</td> <td>2,059</td> <td>2,112</td> <td>1,069</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和4年の千葉県分は8月15日現在（本件を含む）、全国分は7月31日現在。</p>				届出数	H30年	H31・R1年	R2年	R3年	R4年	千葉県	101	101	97	84	40	全国	2,142	2,314	2,059	2,112	1,069
届出数	H30年	H31・R1年	R2年	R3年	R4年																
千葉県	101	101	97	84	40																
全国	2,142	2,314	2,059	2,112	1,069																
<p>（県民の皆様へ）</p> <ul style="list-style-type: none"> レジオネラ症の感染源となりうる冷却塔、循環式浴槽（24時間風呂・温泉利用施設・ジャグジー等）、循環式給湯、加湿器（超音波加湿器）の衛生的な管理を行い、菌の増殖を防止しましょう。 適切な抗菌薬の投与により治療可能ですが、治療が遅れると重症化し、死亡することもあります。有症状の場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。特に、重喫煙者、透析患者、糖尿病等の患者はリスクが高いとされていますのでご注意ください。 																					

【参考】

レジオネラ症とは

レジオネラ属菌による細菌感染症で、その病型は劇症型の肺炎と一過性のポンティアック熱がある。

1 感染経路

- 土壌、冷却塔水、プール、池、噴水、温泉水、24時間風呂に分布する病原体のエアロゾル吸入、誤嚥による経気管、気管支的感染。
- 人から人への感染はない。

2 病原体

- レジオネラ属菌、特にレジオネラ・ニューモフィラによることが多い。

3 潜伏期間

- レジオネラ肺炎の場合、2～10日（平均4～5日）
- ポンティアック熱の場合、1～2日（平均38時間）

4 症状

- レジオネラ肺炎の場合、発熱、咳、喀痰、呼吸困難等
- ポンティアック熱の場合、発熱、咳、筋肉痛、頭痛。
（呼吸器症状は軽微）

5 治療

- レジオネラ肺炎の場合、抗菌薬療法
- ポンティアック熱の場合、対症療法、抗菌薬療法は不要